

“ヒラメキ”からはじまる
企業ストーリー

不正アクセス・情報漏洩・データ改竄から情報資産を守る、ソナヤ株式会社

文 牛久保洋次

text by Yoichi Ushikubo

【未常識】今は常識ではない、でも未来に常識となる事：これは私が作った造語です。

自然災害が頻発する日本では、多くの企業が万一の災害発生によるリスクに備え対策を講じておりません。それでも近年急増しているサイバー攻撃に対しては、対策が十分ではない企業が少なくありません。サイバー攻撃の脅威が高度化、巧妙化し、攻撃を受けたシステムの停止、重要な情報漏洩等の事故が多発しています。そのためサイバー攻撃に対しても災害同様に対策が必要ですが、中小企業も含め、企業の認識はまだ甘いのが現状かと思えます。

今回は他社とは一線を画すセキュリティシステムで情報漏洩・データ改竄から国家、企業、個人の資産を守るソナヤ株式会社の「SONAYA Guardian + Solo」をご紹介します。

※MCPCAward2016セキュリティ委員会特別賞受賞。

従来のセキュリティ対策は「城」と「堀」の関係であり「城」情報を守るために「堀」セキュリティをより頑丈により強固にしていますが、情報の周りに要塞を作るようなセキュリティ構築のアプローチには限界が出てきています。こういったシステムは内部の不正行為や「なりすまし」に弱く、管理者権限を乗っ取られてしまうと多くの情報を失うリスクを抱えています。

こうした欠点を克服する為に、ソナヤはハッカーによる不正アクセスや内部不正による情報漏洩などを防止できる新たなセキュリティシステム（国際特許取得済）を開発しました。開発者や管理者と言えども、ユーザー個人が独自の鍵を設定した場合、部外者となるような完全個別管理システムを装備して

います。

また最大の特徴は「データは盗まれる」ことを前提にしたセキュリティシステムである事。事前に重要データを「SONAYA Guardian + Solo」で保護しておけば、万が一データが漏洩しても第三者がそのデータを読み取ることは実質的に不可能となります。

「SONAYA Guardian + Solo」は中小企業はもちろん個人でも導入出来るようシステム負担が少ない設定で、監理者不要、既存システムに追加することで更にセキュリティの強化が可能です。

また、標準ではICカードによる認証ですが、個別カスタマイズによりバイオメトリクス（指紋／静脈／声紋／網膜）を利用したその他の認証デバイスへの対応も可能で、様々なシステムとも連携する事ができます。国内大手メーカーや金融機関でも導入実績があり、今後は国内のみならず、世界でのビジネス展開を予定しています。

【ソナヤ株式会社】
URL: <https://sonaya.co.jp>



今月の一言

急成長していく情報社会で「安心」

「安全」「公平」なサイバー環境の提供

これが則ち【未常識の発見】



Profile

慶應義塾大学商学部 卒業
株式会社友アンド愛（レコードレンタルビジネスの開発者）を創業し、代表取締役就任。約700店舗をFC展開する。株式会社ビザカリフォルニアを創業し、代表取締役就任。約400店舗をFC展開する。日本CDビデオレンタル商業組合 初代理事長（社）ニュービジネス協議会 理事等を歴任。
現在、株式会社いかしあい隊 会長、その他顧問数社。